

学校  
便り

中種子町立星原小学校

いwashimizu

令和7年度第11号

令和8年3月16日発行



<http://hoshihara.synapse-blog.jp/>

ブログ絶賛更新中です↑

## 小さな学校で、確かに生まれた奇跡

校長 米村圭史

三月。春の風が校舎を通り抜ける音が、まるで一年間の思い出を運んでくるかのようです。星原小学校は全校11名。他ではなかなか出会えない小さな学校です。

しかし、この学校で子供たちが見せてくれた“心の成長”は、どんな大きな学校にも負けない、いえ、むしろそれを超えるほど深く、豊かなものでした。本校に6年生はいません。だから最上級生は、まだあどけなさの残る5年生たちです。

けれどこの一年、彼らは何度も何度も、自分たちの背中で“この学校を支える力”を示してくれました。運動会では下級生の手を引き、朝の体力づくりや仲良し清掃の準備では誰よりも早く動き、困っている子がいれば、さりげなく寄り添う。誰に言われたわけでもなく、自然に。誰かが見ていようが見ていまいが、静かに。その姿は本当に頼もしく、温かいものでした。

ある放課後、校庭に響いていたのは、タイヤの音と、小さな息づかいです。5年生の3人のうちの1人が、2年生の女子に一輪車を教えていました。2年生は転んでは立ち上がり、そのたびに5年生は、そっと手を差し出し、まるで妹をいたわるように支えながら、「大丈夫。できるよ。私がついてるから。」と会話が聞こえてくるようでした。2年生の子は再び一輪車にまたがり、日暮れが迫るなか、練習は続けました。ちいさな二つの影。その影同士が重なり合うたび、5年生の思いやりが校庭いっぱい広がっていくようでした。

そしてついに、奇跡が起きました。5年生が2年生の手を取りながら、2台の一輪車はどんどん進み始めました。校庭を2周乗り続け、降りた後は本当に嬉しそうでした。自分のことではなく、誰かの成長をこんなにも喜べる子供がいる。そのことが、何よりも尊く、美しく見えました。

この学校では、誰かの頑張りがすぐに誰かの励みになり、誰かの涙がすぐに誰かの支えを呼びます。人数は少ない。でも、そのぶん、子供たちの心は強く、優しく、そして誠実に育ちます。その姿に、何度も心を揺さぶられたことでしょう。

校長として過ごした一年。この学校の子供たちから大切なことを教わりました。

人は、人によって育つということ。支え合うことで、子供たちは想像を超える成長を見せるということ。小さな学校だからこそ、大きな心が育つということ。人数が少ないからこそ、一人ひとりの成長が鮮やかに見える。そのすべてが、この学校の誇りです。

この一年で、ひとりひとりが、自分らしく、確かに、立派に成長しました。5年生の3人は、もうすぐ最上級生としての役目を引き継ぎ、下級生たちは、また新しい未来へ歩き始めます。子供たちは、小さな背中に大きな可能性を詰めこんで、静かに、しかし力強く歩き続けています。どうか来年度も、この子供たちの歩みを見守ってください。そして、子供たちがつくる未来が、どうか明るい光に満ちたものでありますように。保護者の皆様、地域の皆様、一年間、本校を支えてくださり、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



## 授業参観：国語学習発表会

3月5日(木)は、今年度最後の授業参観でした。各学年、国語の学習で学んだことを生かして発表しました。自分の一年間を振り返って書きたいことを文章にまとめたり、発表メモを作成して資料となる写真を撮ったり、アンケートを取ってグラフにしたりと、工夫しながら準備を進めてきました。子供たちは、学級ごとに練習を重ね本番に臨みました。発表会では、保護者・職員が見守る中、緊張しながらも最後まで堂々と発表する子供たちの姿が見られました。異学年の発表を聞くことで、お互いの良さに気づき、学び合う機会にもなりました。



## お別れ遠足 頑張って歩きました！



3月6日(金)は、お別れ遠足でした。学校を8時30分に出発した子供たちは、牧川の大東製糖まで約4kmの道のりを歩きました。目的地に到着すると、絞りたてのさとうきびを試飲したり、さとうきび投げの飛距離を競い合ったりして楽しみました。天候にも恵まれ、青空の下、手作りお弁当をお腹いっぱい食べました。帰りは少し疲れた様子も見られましたが、学校まで無事帰り着きました。往復8kmの道のりを歩ききった子供たちにとって、思い出に残る一日となりました。

## お別れ そして、旅立ち

たくさんの思い出ができました。  
ありがとうございました。

令和7年度うみがめ留学生として星原小学校で1年間を過ごしてきた千澤慧真さん・賢真さんとのお別れの時が近づいてきました。二人は、星原小学校で多くのことを学び、星原校区の行事にも保護者の方と一緒に積極的に参加してくれました。神奈川に戻ってからも、元気いっぱい頑張ってください。そして、種子島に遊びに来てください。また、4年間星原小学校の仲間として過ごしてきた中山海さんも、この春、転出することになりました。4月からは長崎県の学校に通うこととなります。時々種子島に帰ってくるそうなので、またみんなで会える日を楽しみにしています。3人に星原小での思い出を聞いてみました。



慧真さん「みんなで一緒に合奏した町の音楽祭が楽しかったです」

賢真さん「神奈川ではできなかった一輪車に乗れるようになって嬉しいです」

海さん「応援団をしたり、父と母と一緒に走ったりした運動会が心に残っています。」

## 4月行事予定

8日(水) 新任式・始業式	17日(金) 家庭教育学級開級式
9日(木) 入学式	PTA教育相談 PTA総会
13日(月) 交通安全教室	21日(火) NRT学力検査(2~5年 ~22日)
15日(水) 眼科検診	23日(木) 全国学力・学習状況調査(6年)
16日(木) 心臓検診(1・4年)	27日(月) 知能検査(2・4・6年)
	28日(火) 体カテスト